

「平成 29 年度 地域公共交通研修（中国ブロック）を開催しました」

10月18日～19日に中国運輸局にて、自治体、運輸局職員を対象として、22名参加のもと「地域公共交通研修（中国ブロック）」を開催いたしました。本研修は、国土交通大学校の研修に位置づけられており、各運輸局にて3年に1回のサイクルで開催しているものです。

本研修の講義内容は各運輸局に一任されていることから、各運輸局が地域の実情にあわせた内容で実施できるところが魅力の一つでもあります。今回の研修では、研修員に積極的に参加、議論してもらえらる講義を多く取り入れた内容で実施しました。



○講義内容

- ① 「交通計画策定における留意点」 岡山大学大学院環境生命科学研究科 橋本成仁 准教授
- ② 「地域公共交通の課題について ～変化を踏まえた地域公共交通対策～」
神石高原町総務課 竹中大二主任
- ③ 「ロールプレイング」
- ④ 「課題研究（班別討議・発表）」

橋本先生の講義では、「地域公共交通会議」をテーマに、地域公共交通を検討していくうえで地域公共交通会議を上手に活用し、実のある議論をする手法を学びました。地域公共交通会議の事務局を担う自治体担当者にとって、今後の会議運営に大いに参考となる講義でした。

続いて、自治体取り組み事例として、神石高原町より紹介していただきました。神石高原町では、本年4月より主要な路線は乗合バスを維持しつつ、タクシーによる移動を中心とした交通体系をスタートしており、導入経緯や利用状況、今後の課題等についてご紹介いただきました。特に、タクシー補助である「ふれあいタクシー」についての関心が高く、熱心な質疑がありました。

座学の講義はここまでとして、ここからは、先の2つの講義を踏まえて実践的な研修に入りました。



「ロールプレイング」では、設定したテーマについて、班に分かれて解決策を検討しました。検討にあたっては、地域公共交通会議を開催しているとの想定の下、各研修員が自治体役、住民役、事業者役等になりきり、それぞれの立場で発言、議論していただきました。これは、それぞれの立場で議論することで、それぞれの立場の考え方を理解し、今後の会議運営の参考にしてもらうことを目的に実施したものです。とはいえ初めてのことであり、議論が進むのかという不安もありましたが、各研修員が積極的に議論しているのを見て安心したところです。

最後の「課題討議」では、地域交通が廃止の危機に直面した場合、どのように対応していくかについて、仮定のテーマを2つ設定し各班で討議、発表をしていただきました。

今回の研修では、これまでの座学中心の研修から、研修員に議論していただく、また議論する中で他の自治体の考えや取り組みを知ることで、今後、地域公共交通関連業務に従事するうえで

の参考としていただくことを目的とした内容で実施しました。

研修員のみなさまに提出していただいた意見調査票では、概ね満足していただけたことが確認でき一安心しているところです。一方でご意見もいただいておりますので、次回の本研修、中国運輸局で実施している各種勉強会等の開催にあたっての参考とさせていただき、自治体のみなさまの一助となるような研修・勉強会等の実施に引き続き取り組んで参ります。

今後とも研修、勉強会等へのご参加をお待ちしております。